

政策評価シート（平成30年度実績評価）

◎ 政策の基本情報

総合計画 中期 プラン	政策No.	1-6	政策名	雇用環境の充実	政策の 目指す姿	希望する仕事に就き、安心して働いています	政策 主管課	商工労政課	政策主管 課長名	古川 昌
	政策の方針	市民が希望する仕事に就き、安心して働くためには、雇用環境の充実を図る必要があります。そのために、企業が必要とする技術や能力を身につけるための人材育成に取り組むとともに、働きやすい就労環境づくりへの支援を行うなど勤労者福祉の向上を図ります。								

2 成果指標の達成状況

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	区分	H27 (基準年度)	H29	H30	R1	R5
					目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
求職者の就職率	就職希望者がどの程度就職することができたかを測る指標。	出典：公共職業安定所【雇用のうごき】 算出：(就職件数/新規求職申込件数) ※分母…月ごとの新規求職者申込件数の累計 分子…月ごとの就職者の累計	%		目標値	50	50	50	50
					実績値	50.8	49.4	48.6	-
					目標値				
					実績値			-	
					目標値				
					実績値			-	
達成度	[達成状況に関する背景・要因]								
B	ここ数年で、求職者数が減少し続けている。その一方で求人数は微増する傾向であることから求人倍率は高い状況を維持している。人手不足を背景に、求職者がよりよい雇用条件を求めていることに対し中小零細事業者はその雇用条件に応えていくことが難しい事例も散見され、就職率の向上に直結しない場合が考えられる。								

3 政策に対する各施策の達成度

No.	施策名	成果指標名	H27 (基準年度)	H29			H30			R1		前年実績との比較	達成度
			現状値	目標値	実績値	達成度	目標値	実績値	達成度	目標値	見込み		
1	職業人材の育成	ジョブカフェはなまき新規登録者の就職決定率(%)	28.3	30.0	35.3	a	30.0	37.0	a	30.0		↗	A
		従業員を対象としたスキルアップセミナー等の受講者数(人)	424	410	272	c	430	469	a	450		↗	
2	勤労者福祉の向上	職場の福利厚生やワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)に満足している勤労者の割合(%)	45.0	50.0	48.3	b	50.0	46.9	b	59.0		→	B
3													
4													

4 政策の総合的な評価

評価区分	政策の課題と要因
B-①	人口減少による労働力の不足、有効求人倍率が高止まりという状況が続いており、技能職人材の減少による技能の承継問題や働き手不足による事業継続断念が懸念されており、就労者の増加が求められている。 また、職場内におけるワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)がまだまだ浸透されていない状況から、勤労者福祉の向上を図るため、啓発活動を行うなどの取り組みが必要である。
順調	

成果指標達成度	A				
	B				☆
	C				
	D				
④ ③ ② ①					
政策に対する施策の達成度					

5 政策を構成する施策一覧

施策名	職業人材の育成	施策の成果指標の達成状況	H29	B	H30	A
1		<p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> 数年前から有効求人倍率が高止まりとなっており、人手不足の状況が慢性的に続いている。 <p>[今後の方向性]</p> <ul style="list-style-type: none"> 職業安定所、商工会議所や県といった関係機関と連携し、これまで継続してきた事業を効果的に実施するとともに、移住支援金制度の活用を進め就労者を増やす。地元出身者が働ける雇用の場を創出するために企業誘致を進める。 				
2		<p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> 働き方改革やワーク・ライフ・バランスに対する意識や関心が高まっているが、市内企業の取組は進んでない。(取組み中20%弱 労働実態調査:商工労政課独自調査) <p>[今後の方向性]</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、勤労者福祉に関する各制度の周知を図るほか、ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業を増やすために、企業の経営者等の意識改革や職場への普及・啓発を関係課・機関と連携して行う。 				